

メディアについて

メディアとは、情報を伝達する際に、発信者と受信者の間にあるすべてのものを指す広い言葉で、ここでは3つに分けて分類する。本によっては違う言葉で説明することもある。

例えば、手紙を使って情報を届けるときについて考えると、発信者は自分の考えを文章で表現し、写真を同封したとすると、「文字」や「静止画」で表現しているといえる。それを郵便ボストに入れ、相手に届けたとすると、「郵便」という情報と届ける仕組みを使っている。また、文字や写真は、「紙」や「インク」などで記録され届けられている。この情報を記録している物理的なものがある。

まとめると、

1. 情報を届ける仕組みは「郵便」
2. 情報を表現したものは「文字」「静止画」
3. 情報を記録した物理的なものは「紙」「インク」

となる。ここでは、1を情報メディア、2を表現メディア、3を記録メディアと呼ぶことにする。

次に、スマートフォンを使って、電子メールで同じように情報を送った場合について考える。発信者は自分の考えを文章で表現し、撮った写真を画像ファイルに添付する。これは、手紙で送った例と同じように「文字」と「静止画」で表現している。なので、2の表現メディアは「文字」「静止画」となる。「電子メール」の仕組みを使っているので、1の情報メディアは「電子メール」、そして情報を届ける際に使ったものとして「電波」「電線」「光ファイバー」があげられる。この通信をするときに使った物理的なものを、「通信メディア」と呼ぶことにする。先ほどの物理的なものではあるが、通信に使っているものなので、これを通信メディアと呼ぶことにする。

まとめると、

1. 情報を届ける仕組みは「電子メール」
2. 情報を表現したものは「文字」「静止画」
3. 情報を送信した物理的なものは「電波」「電線」

となる。ここでは、1を情報メディア、2を表現メディア、3を通信メディアと呼ぶことにする。郵便の3番の「記録メディア」とメールの3番の「通信メディア」は、情報を送る際に使われた物理的なものとして、「伝達メディア」と呼ぶことにする。

3つのメディアで表にまとめると

情報メディア	表現メディア	伝達メディア
郵便	文字、静止画	紙、インク
電子メール	文字、静止画	電波、電線、光ファイバーなど
電話	音声	電線、空気など
テレビ	文字、音声、静止画、動画	電線、電波など
ラジオ	音声	電波など

もっと細かく考えると、郵便の手紙を届ける際に配達員が郵便物を運んだ道、車の燃料、電子メールを記録しているメモリやハードディスクなども考えられるが、ここでは省略する。

表現メディアの特性

4大マスメディアと呼ばれる「新聞」「テレビ」「雑誌」「ラジオ」について考える。

4大マスメディアの特徴

新聞 4大マスメディアの中でも最も信頼性の高い媒体として認識されているが、テレビやインターネットに比べると速報性がない。

テレビ 世間への絶大な影響力を持ち、速報性が高い

雑誌 ターゲットの分類が明確に設定されていて、狙った層への高リーチを望むことができる

ラジオ 音声だけで情報を伝え、速報性は高い

インターネットメディア

不特定多数に対して、個人が情報を発信できる。

参考 汐留 PR塾

インターネットメディアの特徴とは？マスメディアとの違いも解説 (2023-09-04)

<https://kyodonewsprwire.jp/corp/shioj/5231/#4>

※新聞について

新聞社は何社もあり、全国紙や地方紙など様々ある。全国紙を発行している5社の比較をすると、

1. 読売新聞社

1874年（明治7年）創刊。1920年から現代まで続く「東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）」の共催社。1934年には読売巨人軍の前身となるプロ野球チームを創立。2001年に発行1030万部を突破し、過去最高を記録する。政治経済、社会問題などについて信条に基づき30年後の検証にも対応できる主張を明示。論説委員会によって論調が決定される

2. 朝日新聞社

1879年（明治12年）創刊。1日の平均発行数およそ1000部からのスタート。公正無私な編集方針のもと新聞が作られ、現代にも継承されている。1907年に夏目漱石、1909年に石川啄木が入社している。1915年に「第1回全国中等学校優勝野球大会」を開催。1948年に「全国高等学校野球選手権大会」と改称される。

3. 每日新聞社

毎日新聞の前身となる東京日日新聞は1872年の創刊。日刊紙としては歴史が最も古い。1875年に世界で初めて戸別配達を実施。1876年に大阪日報が創刊され、1911年に合併して全国紙となる。1918年にのちの全国高校ラグビー大会となる「第1回全国中等学校フットボール大会」を開催。

4. 産経新聞社

1933年に日本工業新聞の名前で創刊され、1942年に産業経済新聞と改題。1955年に現代のサンケイスポーツである日経サンケイ・スポーツを創刊、1958年に新聞の名称が産経新聞に統一される。1967年にフジテレビジョンやニッポン放送、文化放送とともにフジサンケイグループを結成する。時事問題や世界情勢について独自の視点でまとめている。

5. 日本経済新聞社

日本経済新聞は1876年に中外物価新報として創刊され、1942年に日刊工業、経済時事両紙との合併により、日本産業経済に改題。1946年に社名が日本経済新聞社となった。およそ7割の役職者がチェックしている媒体で、国内外の企業実績や景気の動向など、大小問わずあらゆる経済情報を伝えていている。

表1 新聞社の比較

	読売新聞社	朝日新聞社	毎日新聞社	産経新聞社	日本経済新聞
資本金	12億円	6億5000万円	1億円	31億7200万円	25億
従業員数	4629人	4449人	5342人	1969人	3021人
発行部数（朝刊）	8765366部	6258582部	3016502部	1555261部	2421882部
関係している企業	日本テレビ、読売巨人軍、中央公論新社	テレビ朝日、朝日新聞メディアブロダクション、日刊スポーツ新聞社、朝日新聞出版社など	TBS、スポーツニッポン新聞社、東日印刷、高速オフセットなど	フジテレビジョン、ニッポン放送など（フジサンケイグループ）	テレビ東京、日経BP
コラム・漫画	「コボちゃん」	時事コラム「天声人語」	「ぐうたらママ」	爽快コラム「産経抄」	「私の履歴書」

※2024年5月時に公表されている最新データ

(参考) ホームメイト 大手新聞社の規模や特徴について徹底比較

<https://www.homemate-research.com/bc185/tvlog/159/>

新聞社・テレビ局の特徴

各メディアの右寄り・左寄りの傾向は、立場などによって変化するが、一般的によく言われる傾向を左寄り・リベラル～右寄り・保守の方向で並べると、

一番左寄りが、朝日新聞／テレビ朝日、次に毎日新聞／TBS、一番中立の立場なのが日本経済新聞、その次が読売新聞／日本テレビ、一番右寄りなのが産経新聞／フジテレビとなる。

(参考) 企業 LOG

<https://kigyolog.com/article.php?id=1629>

※憲法改正などを例に記事の比較をしている

■スポンサー、視聴者のニーズに合わせた番組制作

民放のテレビ局はスポンサーに出資をしてもらって番組が制作できている。なので、スポンサーに不利になるような情報は流せないし、スポンサーについてもらえるような番組にすることもある。

例えば、日曜日などの子供向けのアニメや戦隊ものの番組などは、シリーズ化されていて、1年過ぎると新しくなる。これは、新しい番組になれば、スポンサーのおもちゃメーカの商品が売れるからである。また、視聴者を取り込むために内容を視聴者のニーズに合わせて変化させていたりする。

例を挙げると、石ノ森章太郎原作の仮面ライダーなどは、改造手術を施された異形のヒーローが悪の組織と戦うもので、バイクに乗っていたのだが、仮面ライダー電王では、ニーズに合わせて、電車に乗ったり、仮面ライダードライブでは車に乗ったりした。これも、視聴者に合わせて変化された例で、これらの作品については、原作の著作権者が許可を出せば問題ないことだが、元の情報が「報道する内容」でも、同じように視聴者が望むような形に作り替えられて報道されることがある。例えば、実際はしていないことを、疑いがあるだけで、あたかもしたかのような報道したり、政治を批判する報道はよくあるが、ショックを受けるような内容だけを切り取って報道することがある。

捏造放送について

コロナ禍のときに人が密集しているという映像を、コロナ前の映像を使って報道していた例。

【捏造報道メモ】テレビ朝日、映像を捏造して鉄道ファンを敵に回す

<https://207hd.com/post-9022/>

石原都知事発言捏造テロップ事件

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%9F%B3%E5%8E%9F%E7%99%BA%E8%A8%80%E6%8D%8F%E9%80%A0%E3%83%86%E3%83%AD%E3%83%83%E3%83%97%E4%BA%8B%E4%BB%B6>

地方の民放テレビ局

都道府県別で見られる放送局の数が違う。情報デバイドの例ともいえる。

<https://ouenbu.com/life/tv.html>